

2009（平成 21）年 9 月

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION NO. 25 Sep. 2009

目 次

シンポジウム開催のご案内	1
日本情報考古学会第 27 回大会開催のご案内...	1
日本情報考古学会第 26 回大会報告.....	1
日本情報学会 2008 年度学会賞について.....	3
2009 年度第 1 回理事会報告	3
2008 年度決算報告	3
事務局変更のお知らせ	4
会費納入のお願い	4
広告掲載について	4
「情報考古学」の論文募集.....	4
講演論文集バックナンバーのご案内	4



日本情報考古学会第 27 回大会のご案内

現在、日本情報考古学会第 27 回大会を下記の予定で開催すべく準備を進めております。大会期日が近づきましたら、改めて発表募集等のご案内をいたします。

シンポジウム開催のご案内

2009 年度日本情報考古学会シンポジウム「考古学データベースの過去・現在・未来」を 10 月 10 日（土）、同志社大学東京オフィスにて開催いたします。

このシンポジウムでは、4 人の講師の先生にお一人 40 分程度の講演をしていただいた後、参加者の皆さんと 30 分程度ディスカッションの時間を持つ予定でおります。会員の皆様の参加をお待ちしております。

詳細につきましては、同封しました別紙（A4 判の案内チラシ）をご覧ください。

—開催日程・概要など—

日時： 2010（平成 22）年
3 月 27 日（土）、28 日（日）

会場： 大阪大学 基礎工学研究科内
（豊中キャンパス）

実行委員長： 佐藤宏介

日本情報考古学会第 26 回大会報告

平成 21 年 5 月 30 日（土）、31 日（日）の二日間、東京の共立女子大学において、日本情報考古学会第

26 回大会が開催されました。新型インフルエンザのため開催が危ぶまれましたが、無事に開会が宣言され、一日半にわたる研究発表も滞ることなく進められ、翌日の昼に行われた閉会宣言で無事に終了しました。

なお、大会において発表された研究内容（大会プログラム）は、以下の通りです。

<第 1 日目…5 月 30 日(土)>

13:30-13:40 開会挨拶（開催校）植木武

一般講演

研究発表1 13:40-14:05

石井好

「古代年代論」の証拠

研究発表2 14:05-14:30

石井好

石塚古墳の疑惑

研究発表3 14:30-14:55

竹内啓二

前方後円墳における墳丘形の考察

～陵墓地形図・原図の青焼きのデジタル画像から～

研究発表4 14:55-15:20

村木祐太・今野晃市・千葉史

遺物計測のための多方向データの位置あわせ手法の検討

— 休憩 15:20-15:30 —

研究発表5 15:30-16:55

石川正敏・金子敬一

野外調査のためのデジタルペンを用いた地図注釈システムの実現

研究発表6 16:55-16:20

近藤康久・清野陽一

歩行データに基づく移動コスト計算法試案：中山道木曾路における GPS フィールド実験から

研究発表7 16:20-16:45

近藤康久

オマーン・バート青銅器時代遺跡群における迅速・簡便・低コストな写真測量調査

研究発表8 16:45-17:10

西村淳

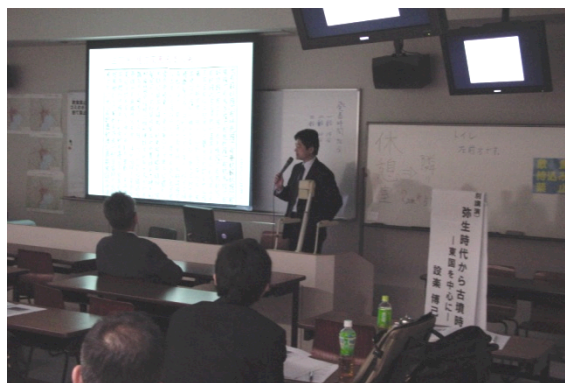
傾いた地形における墳丘の構築方法についての疑問



特別講演 17:15-18:15

設楽博己 先生

邪馬台国をさぐる



— 学会賞授与式 18:15-18:25 —

— 懇親会 18:30-20:30 —

<第 2 日目…5 月 31 日(日)>

一般講演

研究発表9 10:00-10:25

水山昭宏・三瓶裕司・植木武

考古学のコンカレントエンジニアリング

研究発表10 10:25-10:50

中谷友美・村上征勝

日本古代寺院における金堂基壇の平面形状の変化

研究発表11 10:50-11:15

末代誠仁・中川正樹・馬場基・渡辺晃宏

デジタルアーカイブ検索機能を有する木簡解読支援システム

研究発表12 11:15-11:40

紅林輝・八重樫純樹

考古学データベース構築のためのデータ収集支援システムの開発

研究発表13 11:40-12:05

河嶋壽一・近藤隆弘・久保昇太・坂本惇・田中亮・大門賢城・白島雄三

六葉の3次元デジタル復元への試み

— 総会 12:05-12:35 —

12:35-12:45 閉会挨拶 会長 村上征勝

日本情報考古学会 2008 年度学会賞について

日本情報考古学会 2008 年度の学会賞は次の方々が受賞され、共立女子大学で開催された第 26 回大会時に授賞式が行われました。

◆日本情報考古学会賞◆

大塚初重氏（明治大学名誉教授）

◆日本情報考古学会堅田賞◆（優秀賞）

杉原健一氏（岐阜経済大学教授）

木村寛之氏（㈱イビソク）

（注）日本情報考古学会論文賞は、今年度は該当者がありませんでした。

なお、朝日新聞岐阜版に、杉原氏受賞の記事が掲載されました。



2009 年度第 1 回理事会報告

第 26 回大会（於 共立女子大学）開催中に、2009 年度日本情報考古学会第 1 回理事会が以下のように行われました。

記

日時： 2009(平成 21)年 5 月 30 日

場所： 共立女子大学

出席者：

（理事）植村俊亮、植木武、及川昭文、村上征勝

（幹事）千原國宏

（委任状）泉拓良、佐藤宏介、新納泉、

1. 千原幹事からの会計監査報告の後、2008（平成 20）年度決算案が承認された。
2. 2009(平成 21)年度予算案が一部修正の後承認された。
3. 次回 27 回大会を 2010(平成 22)年 3 月末に大阪大学で開催する方向で交渉する。
4. 「考古学のデータベース」に関するシンポジウムを、秋に関東で開催する方向で検討する。オーガナイザーは及川、植村の両理事。
5. 学会誌・研究報告集のバックナンバーの在庫に関して、バックナンバーの在庫の保管場所の確保が難しくなってきたことから、会員には特別価格で販売する等、在庫の整理について具体的な方法の検討に入る。

以上

2008 年度決算報告

2008（平成 20）年度の決算報告を致します。

日本情報考古学会平成 20 年度決算報告書

収入		支出	
繰越金	2,258,537	情報考古学13-1号	420,000
会費	171,000	情報考古学13-2号	420,000
利息	84	情報考古学14-1/2号	420,000
冊子売上	4,200	第23・24・25回大会発表要旨印刷費	577,500
雑収入	0	事務維持費	2,825
		会報等印刷費	24,770
		消耗品費	12,281
		送料	63,840
合計	2,433,821	合計	1,941,016
		次年度繰越金	492,805

会計監査報告書

平成 20 年 4 月 1 日より平成 21 年 3 月 31 日までの会計経理を監査した結果、収支決算報告書の通り間違いないことを認めます。

平成 21 年 5 月 28 日

監事 千原 国夫

事務局変更のお知らせ

4 月 1 日より、学会事務局を下記のように、同志社大学文化情報学部津村研究室から村上研究室に変更いたしましたのでお知らせいたします。住所は同じですが、電話番号、Fax 番号、E-mail が変わります。

〒610- 0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1 - 3
同志社大学文化情報学部
日本情報考古学会事務局

変更後

Tel&Fax : 0774-65-7681

E-mail : mamuraka@mail.doshisha.ac.jp

会費納入のお願い

各位におかれましては、学会運営をスムーズに行うため、会費の納入にご協力をお願い致します。また会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向けご協力をお願い致します。

広告掲載について

日本情報考古学会会報および講演論文集に、今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に充てることができればと考えております。会員の皆様も心当たりがございましたら、ご紹介ください。

「情報考古学」の論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」vol. 16 は、第 27 回大会時に刊行・配布予定です。投稿締切日は、2010 年 1 月 10 日ですので、奮ってご投稿下さい。投稿に関するご質問および投稿先は、下記の植木会誌編集委員会委員長までお願い致します。

連絡先 : 〒101-8437

東京都千代田区一ツ橋 2 - 2 - 1

共立女子短期大学・生活科学科

植木 武 (会誌編集委員会委員長)

Tel&Fax 03-3237-2524

講演論文集バックナンバーのご案内

講演論文集のバックナンバーにつきましては、学会事務局で取り扱っております。研究発表大会にご参加いただけない会員の方々には、1,500 円 (郵送料込み) にて配布させていただいております。

振込口座

南都銀行 京田辺支店

普通 0301986

日本情報考古学会事務局

日本情報考古学会会報 No. 25

発行 日本情報考古学会事務局

2009 年 9 月 1 日

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1 - 3

同志社大学文化情報学部 日本情報考古学会事務局

Tel/Fax 0774-65-7681

E-mail: mamuraka@mail.doshisha.ac.jp